

〇わしは返済の日あてもない金④の無心と言
 つてやつた。わしは竹世山君の親即ち對して
 比喩がのしい。

光子

ああたふすつこのうか癒^{おほ}りにさへおん
 ばお金はいつたしかへせるぢやありませんか。

秀作

わしは醫師だ。わしは竹世山君は無心
 の手紙を出すたん即ち心のうちでは立派^〇に

竹世山君を偽つてぬたのぢ。

光子

ああ、そんな馬鹿なことをい、
 いや、すつたなくさうぢ。わし

の死後 ~~〇~~ 保険料金の外には一文の

収入もおいお前たちのみじめな生活と思ふと

死ぬにせぬおれおい。わしはお前たちお

わしのたのみに建てにくれるこの濱の家につい

て考へたのぢ。せむせむわしお生れし

ぬる間にこの家を建て、田舎のあければ不

りぬとあつたのぢ。せめてお魚しのお魚しい中買

士屋の一つとしてお前^{あり}鉄雄^{あり}おりにゆつづ

てお置きたのつたのぢ。

光子

い、え、えんお魚の弱いことを仰つしや

